

平成27年度

学校だより

11月 *Fall*



平成27年10月30日11月号(第480号)

横浜市立すすき野小学校

TEL045(901)6232 FAX 045(904)4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

すこやかスマイル すすんで考え行動し きょう力合う すすきっ子



## ご家庭でも一緒に考えましょう《言葉遣い》

校長 三橋 国雄

前期の終業式に、私がすすき野小学校に着任してから、子どもたちに自分のこととしてしっかり考えてほしいと強く感じたことを全校児童に話をしました。その話を紹介したいと思います。

『それは、言葉遣いについてです。乱暴な言い方をする人がいます。自分が言われたら絶対嫌だと思ふのに、そんな言葉を人には言っているそんなことはありませんか。』

友だちとの言葉のやり取りがもとで、「ばか・死ね、消えろ」などのことばが発せられ、けんかが起きたり、もう学校に来たくないとなったり、つらい気持ちになり本来、国語や算数などの勉強をする時間なのにできなくなってしまっている人がいます。

言葉は怖いのです。口から出てしまったらその言葉を消すことはできません。だから考えて言葉を発しなければいけないのです。これは年齢が大きくなればなるほど責任は重くなります。

○友だち同士で言葉でじゃれあっています。かなりきつい言われ方をしている場面もあります。たぶん言っている人はふざけ半分なので「分からない、気づけないのでしょうか。」でも言われている人にとっては地獄の時間ではないでしょうか。

○勘違いがもとで言い合いをしています。どちらも自分の言い分を通すためにしつこい言い合いになっています。我慢ができなくなると手が出る足が出るになりそうです。

いかがですか？これは実際に起こっていることです。

そんな教室の状況がつらくて嫌だなと思っている人もいます。

みなさん、ここで自分を振り返ってみてください。もし少しでも「アッ」と思うことがある人は自分を変えていかなければなりません。』

そして後期の始業式には次のような話をしました。

『終業式の日言葉遣いについて話をし、自分なりに考えてほしいと宿題を出しました。教室でノートに思ったことをまとめてくれた学年もありました。校長室に「言葉遣いが悪い人がいたらしっかり注意をする。」「自分は言葉遣いを直す。」「自分のことを言われているようだった。」などと考えたことや感想をその日のうちに伝えに来てくれた人もいました。ありがとう！うれしかったです。後期はそれを実行することです。自分のできることから始めてください。あきらめない。自分を挫にはめない。先生たちはいっぱい応援します。』

6年生は10月27日に市体育大会に参加しました。今月は日光修学旅行があります、5年生は10月21日から23日まで、清里宿泊体験学習に行ってきました。今月は、区球技交流会があります。4年生は区音楽会に参加します。学校以外の人たちともかかわりながら取り組む行事です。自分の長所をさらに伸ばしながら頑張らせたいと思います。失敗したらそれで終わりではなくそこから強く別の自分になれるように、失敗をいつまでも考えてもしょうがありません。新しい自分にチャレンジする後期にできるよう教職員一同支援していきたいと思います。皆様も変わらぬご支援よろしくお祈りします。